

令和5年第1回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和5年1月25日（水曜日） 午後1時44分から3時39分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 国分央・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第1号

議題及び決定事項等

議案第1号 日高市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 二十歳のつどいについて、ひだかアリーナで式典を開催したあと、出身地区に分かれて第2部を実施したことは好評でありよかったと思う。コロナ禍になる前は、飲食店などで同窓会を行っていたが、コロナ禍になって大人数での同窓会は減ったのではないかと思う。そのような状況なので、何か心に残る式典、例えば、有名人をゲストに呼ぶなどを行ってもよいと思う。

(委員) 新型コロナウイルス感染症について、国では、現在の2類感染症から季節性インフルエンザと同等の5類感染症扱いにする検討がなされている。4か月程が流行の波となっている。ただ5類にするのではなく、状況に応じて流動的に考えていかなければならないと思う。今後、学校においては、基本的にはゼロコロナを念頭において運営し、円滑な教育の妨げとなるものは緩和していけばよいと思う。現状では、学校でのクラスターは少ないと思う。学級閉鎖の考え方も感染経路などを考慮して拡大する恐れが低いのであれば閉鎖はしないなど、柔軟な対応も必要ではないかと思う。また、コロナ対策で冬でも窓を開けて授業を行っているため、ひざ掛けや防寒着の着用を認めていると思うが、乾燥や冷えの対策で水筒に温かい飲み物を入れて持参させることもよいことである。

(委員) 今年度の共通テストについて、問題を見たが、英語は6,800単語程あり内容も実用英語のようなもので相当な能力がなければ高得点は難しいと感じた。数学についても難易度は高く、小学校5、6年生頃の基礎からの積み上げが大切であると感じた。今後小中一貫教育を推進していく中で、こうしたものに対応できる力を身に付けられるよう、カリキュラムを工夫していくことが必要であると思う。武蔵台小中学校のカリキュラムができれば見せてほしい。

(委員) 義務教育学校の開設のため小学校と中学校が一緒になるときは、円滑に移行できるように教員の人事異動は最小限にとどめたほうが良いと思う。小中の教員どうしが共感して進めることが大切である。

(委員) 県立高校の入学試験で実技検査と面接はどういった学校で実施しているのか。

(学校教育課長) 実技については、スポーツや芸術関係の学科で実施することが多い。面接については、半数程度の学校で実施している。

(委員) 入学試験に選択問題を導入しているのはどういった学校か。

(学校教育課長) 比較的偏差値の高い高校で導入している傾向である。

(委員) 令和5年度の予算編成を進めていると思うが、教育予算について変化はあったか。

(教育部長) 金額的に大きな変更はない。令和4年度に引き続き、小中の統合や学校改修を実施していく予定である。

(委員) 武蔵台小中学校の整備工事はどのくらいの費用がかかったのか。

(教育部長) 約2億円である。小学校校舎に中学生を迎えるための改修が主な内容で、特別教室の整備や体育館の改修、教員の増員に伴う職員室の改修等を行った。

(委員) 義務教育学校である武蔵台小中学校の教育課程の作成状況はどうか。

(学校教育課長) 9年間を見越したものとなるよう小中一貫の教育課程検討委員会を設けて話し合いを進めている。

(委員) 義務教育学校となるが、学習指導要領に特別なものがあるのか。中学1年生の学習内容を小学校6年生に持ってくるなどの柔軟性は持てるのか。

(学校教育課長) 学習指導要領は小学校と中学校のままなので、義務教育学校としての要領はないので難しいところである。

(委員) 法的な縛りがあると義務教育学校のメリットが薄れてしまう。武蔵台小中学校の教育課程を作成したら見せてもらいたい。

(学校教育課副参事) 検討委員会では、系統性を意識した教育課程となるよう検討を

進めている。

(委員) 9年間で1年ごと区切って考えなくてもよいのではないか。例えば、3年ごとに分けて考えたり、2年ごとにして最後の1年を集大成とすることも考えられる。

(教育長) 小学校課程で学習したことと同じことをまた中学校課程で実施したりしている。そういったものを工夫して教育課程の編成を行っている。

(学校教育課副参事) 6年間で前期課程の終了証がでる。小学校課程では、後の中学校課程を見越して、つながっていくものは発展させた内容にする等の対応を行っている。

(委員) 今の共通テストを見るとどの教科の出題も国語力が必要であると感じた。時代が求める人材ニーズは変化していく。柔軟性をもって教育を行っていかなければならない。小中の教員のつながりも重要である。

(委員) 学校設置のAEDについて、学校に行った際に意識的に見てみると、場所の掲示はしっかりとされていた。意識しないとなかなか目に入らないので、積極的にPRすることも大切である。例えば4月の学校だよりなどで触れてもよいと思う。

(学校教育課長) 前回の教育委員会会議を受けて近隣市の状況を確認したところ、どこの市も職員室や保健室のわかりやすい所に設置しているようである。体育館と保健室に1台ずつ設置している市もあった。当市でも保護者を含め子どもたちにも設置場所を周知していきたい。

(教育長) 掲示だけでは気づかないことが多いので積極的にPRしていきたい。

(委員) 屋外や体育館での利用を考慮すると、出入口付近に設置するのもよいと思う。

(委員) 二十歳のつどいについて、思っていた以上の出席率でよかったと思う。例えば高校生などで市外に転出してしまった人は、日高の式典に出席することはできるのか。

(生涯学習課長) 通知を送るのは市内に住民登録がある人が対象であるが、そういった事情で出席を希望される人には案内状を送っている。また、当日会場に来ても対応できるようにしている。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第1号 非公開のため記載せず

#### 5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 2月定例会：2月27日（月曜日）午後1時40分から 委員了承

○ 3月定例会：3月16日（木曜日）午後1時40分から 委員了承